

平成 27 年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人 実教学園

F・C フチガミ医療福祉専門学校

2016年7月4日

平成27年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人実教学園 F・C フチガミ医療福祉専門学校は、平成27年度の自己点検・自己評価を実施し、本校規定に基づいて学校関係者評価委員会を開催しましたのでここに公表いたします。

学校関係者評価委員会からの意見を真摯に受け止め、教育力のさらなる向上、より良い学校運営を目指して教員一同努力してまいります。

今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ **実施日時** 2016年6月25日（土） 10:00 ～ 11:30 本校 205 教室

■ **参加者**

➤ 学校関係者 外部委員

◇ [企業・団体等関係者]

- 戸次 弼子 日本診療情報管理学会 評議員
- 田尻 小夜子 広瀬病院 統括部長
- 石田 圭子 高宮くすくすの丘保育園 主任保育士

◇ [教育に関し知見を有する者]

- 岸川 公紀 中村学園大学短期大学部 准教授

◇ [卒業生代表]

- 長島 永青 浜の町病院 情報管理課 診療情報管理室 診療情報管理士

➤ 学校教職員

- 吉田 登志子 学校長
- 天野 裕二 事務長
- 山本 睦美 教務課 課長補佐
- 吉田 悟志 企画広報室 課長
- 蓮井 栄二 学校関係者評価委員会担当

■ **評価内容に関して**

27年度、各評価項目に関して評価・課題・改善方策を検討し、学校関係者評価委員会の意見をうかがいながら改善に取り組み、昨年度の取り組みによって一定の改善が認められた。(一部、評価減を含む)

また、27年度の改善状況を受け28年度の課題を検討、学校関係者評価委員会の意見をうかがいながらその課題に関して今年度の課題をまとめた。なお、27年度（平成28年2月）に全教員対象に同評価項目に関しての達成状況のアンケートを行っており、今年度の自己評価委員会が評価をまとめるにあたっての参考としている。

■ 学校関係者評価委員会 評価結果

1. 教育理念・教育目標

評価項目	評価
①教育理念・教育目標は、定められているか。	④ 3 2 1
②教育理念・教育目標は、社会のニーズにあっているのか。	④ 3 2 1
③教育理念・教育目標は、学生・保護者に周知されているか。	4 ③ 2 1

<27年度達成状況>

年度や媒体により異なった文言を整理し、統一する等おこなったが、評価に関しては変更はなし。

<28年度改善方策>

教育理念・教育目標の周知の段階は改善されているが、認知度の向上がさらに必要である。教育理念の周知を行うため、職員会議での理念の説明、学校内（教室内）掲示方法の検討・実施する。

2. 学校運営

評価項目	評価
①学校の教育目標に沿った事業計画が策定されているか。	④ 3 2 1
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	④ 3 2 1
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されており、有効に機能しているか。	4 ③ 2 1
④人事・給与等に関する規則等は整備されているか。	④ 3 2 1
⑤業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか。	4 ③ 2 1
⑥教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4 ③ 2 1
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4 ③ 2 1
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4 ③ 2 1

<27年度達成状況>

コンプライアンスに関する相談窓口はあるが、規程が設けられていなかったため、コンプライアンス規程を整備した。②の評価を2から3に変更。

教育活動に関する情報公開が適切になされていなかったため、インターネットホームページに専門課程の教育活動に関する情報を掲載した。⑦評価を2から3に変更。

<28年度改善方策>

コンプライアンス規程の周知、教育活動等に関する情報公開が出来ていないため、コンプライアンス規程の周知徹底、及びホームページの内容の充実を図り、専門課程に教育活動に関する情報に「こどもみらい科」を掲載、養成科の教育活動の掲載を検討していく。

運営組織や意思決定機能、および教務・財務等の組織整備など意思決定システムが有効に機能するよう、校務運営規定上の組織が適切に機能するよう検討していく。

3. 教育活動

評価項目	評価
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	④ 3 2 1
②教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④ 3 2 1
③学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	④ 3 2 1
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	④ 3 2 1
⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	④ 3 2 1
⑥キャリア教育・実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が行われているか。	④ 3 2 1
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか。	4 ③ 2 1
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	④ 3 2 1
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	④ 3 2 1
⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	④ 3 2 1
⑪人材育成目標の達成に向け、授業を行うことが出来る要件を整えた教員を確保しているか。	④ 3 2 1
⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか。	④ 3 2 1
⑬関連分野における先端的な知識等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組がなされているか。	④ 3 2 1
⑭職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか。	④ 3 2 1

<27年度達成状況>

入学から卒業までの期間において必要なキャリア教育及び職業教育のカリキュラムを試行し、教材の「やる気の根っこ」を活用するなどの工夫を行った。それにより、本校のキャリア教育の内容を科目に落とし込み、三期におよび実施するという基礎案がつけられた。④の評価を3から4に変更。

専修学校協会の実施する中堅教員研修「教授法」「プレゼンテーション」を5名の教員が受講。また、学内にて実施したキャリア・サポーター養成講座を8名の教職員が受講し、キャリア・サポーターの資格を取得した。⑬、⑭の評価を3から4に変更。

<28年度改善方策>

授業に対する双方向の評価は実施できているが、評価体制を明確にしてカリキュラムの変更や検討の際、授業の工夫や改善の際に、その根拠として活用できるものにすることが必要であるため、授業評価について、実施データの蓄積と一般化した活用できる分析(平成28年後期より可能)を加えて行えるよう、学生へのアンケートの集計結果の分析を行い、分析内容をもとに授業の質の向上に役立て、研究していく。

4. 学修成果

評価項目	評価
①就職率の向上が図られているか。	④ 3 2 1
②資格取得率の向上が図られているか。	4 ③ 2 1
③退学率の低減が図られているか。	4 ③ 2 1
④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	④ 3 2 1
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。	④ 3 2 1

<27年度達成状況>

就職率は堅調で、診療情報管理科、医療事務科それぞれ1名が卒業までに就職できなかったのみ。しかし、早期退職者が発生している。①の評価を3から4に変更。

各種検定において、取得率が向上していると言える検定は極一部であり、維持及び低下の傾向がみられた。なお診療情報管理士の合格率は90%（維持）であった。①の評価を4から3に変更。（評価減）

就職先訪問を定着させ、担当者による就職先訪問において学生の就業状況や雇用先の希望を聴取、就活キックオフや、養成科合同セミナーなどに卒業生を招聘し講演を依頼している。また、診療情報管理学会において、卒業生の発表を事前確認し、参加学生に聴講させるとともに、今後の目標の一類型として評価している。その他では、マイナビの就活雑誌「キッカケ」に卒業生（医療事務作業補助者）を掲載した。④、⑤の評価を3から4に変更。

<28年度改善方策>

検定の取得率の向上や退学率の低減のためには、担任制の枠にとらわれず、各教員のサポートが必要であるため、検定や学生状況などを共有できる機会を積極的に設け、特に診療情報管理士の合格率が100%となるように更なる改善を検討していく。

5. 学生支援

評価項目	評価
①就職に関する支援体制は整備されているか。	④ 3 2 1
②学生相談に関する体制は整備されているか。	④ 3 2 1
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	④ 3 2 1
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	④ 3 2 1
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4 ③ 2 1
⑥学生の生活環境への支援は行われているか。	④ 3 2 1
⑦保護者と適切に連携しているか。	④ 3 2 1
⑧卒業生への支援体制はあるか。	4 ③ 2 1
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4 ③ 2 1
⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。	④ 3 2 1

<27年度達成状況>

経済的な支援体制について、「学費分割サポート制度」利用者は、平成26年度48名、平成27年度35名、それとは別の制度として、経済的な理由により修学が困難な学生に対する従業料の減免制度について「福岡県私立専門学校修学支援事業」を検討し、今後対象となる学生が希望し、学校が推薦出来る諸条件に適合すれば実施していく（現在のところ適合者なし）旨で理事会の承認を受け、整備をおこなっている。③の評価を3から4に変更。

健康管理を担う支援体制については、マニュアルに定め学生の健康管理に努めている。③の評価を3から4に変更。

生活環境の支援については、住居のあっせんに関し寮及び安全なマンション等の紹介を業者へ依頼。寮との連携における生活管理や体験入寮を実施している。⑥の評価を2から4に変更。

保護者との連携については、出席状況や経済的状況、就職等に関して、保護者との連携を行っている。⑦の評価を3から4に変更。

高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育は、例年同様、企画広報室や専門課程の講師が出向いて実施している。またキャリア教育専門の講師も実施した。⑩の評価を3から4に変更。

<28年度改善方策>

サークル活動等を支援しているが、現在は参加者が少ないため、活動を強化するため、校内掲示板にコーナーを設けて、告知を強化し、各担任からも情報提供を積極的に行う。また、活動報告等の情報発信も積極的に行う。

6. 教育環境

評価項目	評価
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	④ 3 2 1
②学内の実習施設・インターンシップ、海外研修の場等については十分な教育体制を整備しているか。※	④ 3 2 1
③防災に対する体制は整備されているか。	④ 3 2 1

※ 海外研修については当校では現在検討していない

<27年度達成状況>

実習等に関しては十分に行われていると判断、現在は研修に関しては実習や授業のスケジュール上実施が難しいと考えるため、注釈をつけて評価を引き上げる。②の評価を3から4に変更。

<28年度改善方策>

教育環境については現在十分に整備をされていると判断するが、引き続き改善項目を検討し、実施していく。

7. 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
①高等学校等に対して情報提供等の取り組みが適切に行われているか。	④ 3 2 1
②学生募集活動は、適切に行われているか。	④ 3 2 1
③学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	④ 3 2 1
④校納金は、妥当なものとなっているか。	④ 3 2 1

<27年度達成状況>

各項目とも適切に行われているため、評価に関しては変更はなし。

<28年度改善方策>

消費税10%への増税は見送られたが、5%から8%への増税の際授業料への転嫁を見送っているため、費用増加による財務面の悪化が懸念されるため、増加した費用分の授業料への転嫁を今年度検討していく。

8. 財務

評価項目	評価
①中長期的に学校の財務基盤は、安定しているといえるか。	④ 3 2 1
②予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか。	④ 3 2 1
③財務について会計監査が適正に行われているか。	④ 3 2 1
④財務情報公開の体制は、準備はできているか。	④ 3 2 1

<27年度達成状況>

財務情報をホームページで公表出来るように整備し、公開した。④の評価を3から4に変更。

<28年度改善方策>

「学生の受け入れ募集」の改善方策と同様、増加した費用分の授業料への転嫁を今年度検討していく。

9. 法令等の遵守

評価項目	評価
①法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	④ 3 2 1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4 ③ 2 1
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	④ 3 2 1
④自己評価結果を公表しているか。	④ 3 2 1

<27年度達成状況>

自己評価項目をホームページで公表出来るように整備し、公開した。④の評価を3から4に変更。

<28年度改善方策>

個人情報の保護に関して、個人情報の保護に関する内部監査制度の検討ならびに定期的な啓発運動を実施していく。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4 ③ 2 1
②学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4 ③ 2 1
③地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか。	4 ③ 2 1

<27年度達成状況>

各項目とも状況の変化がなく、評価に関しては変更はなし。

<28年度改善方策>

ボランティア活動等を支援しているが、現在は参加者が少ない。ボランティア活動等を強化するため、校内掲示板にコーナーを設けて、告知を強化し、各担任からも情報提供を積極的に行う。また、活動報告等の情報発信も積極的に行いたい。また、学校周辺の清掃範囲の拡大・頻度の検討をしたり、生徒に合ったボランティアを紹介したりするなどボランティア活動を支援していく。

11. 国際交流

昨年度の学校評価における自己評価では「国際交流」に関する自己評価を行ったが、学科の性質上、国内の学生を対象にする学科のみ開設している状況であり、留学生の受け入れは就職先の確保とともに困難であると判断し行う予定はない。そのため、今年度の自己評価では「国際交流」に関する項目は削除することとする。